

117期通信

北海道小樽潮陵高等学校 1 学年通信
令和 2 年 5 月 11 日（月）発行 第 5 号
潮陵 1 学年団

☆ウェルカムウィーク報告 NO.2

今号は、ウェルカムウィーク報告第 2 弾として最後の 2 日間について掲載します。

4/15(水) 7 校時は迫俊哉（はざまとしや）市長に講演をして頂きました。本校 OB である迫市長は、昭和 57 年に小樽市役所に入庁され、総務部長、教育部長など多くの役職で活躍された後、平成 30 年 8 月から小樽市長に就任されています。今回、この騒動で「市長講演」そのものが開催できるか危ぶまれましたが、無事に講演が行えたのは迫市長をはじめとする小樽市職員の皆さんの熱い思いがあつてのことだと思っています。本当に有り難いですね。以下に 1 学年生徒 2 名の「市長講演」の感想を載せましたのでご覧ください。

C 組 O 君

潮陵高校は自由な校風であるが故に、自己責任や自己管理が必要になってくると聞き、意識をもっと高く持とうと思いました。また、学力がものさしとなるとは今だけで社会に出てからは関係ないと聞き、勉強は短いスパンで考えるのではなく、もっと長い目で、市長の言う個性という $+ \alpha$ を活かすために考えて行ふべきだと感じました。市長の講演で、僕は高校生活の意識や態度を考え直し、これからの生活を充実させていきたいと思いました。

E 組 N さん

「学力があるだけでは、社会から必要とされる人間にはなれない」という言葉に共感した。学力の他にも、独創性や判断力、適応能力やコミュニケーション能力など求められる能力はたくさんあるのではないかと考えた。しかし、そういった個性を伸ばしていくための基盤となる学習を疎かにしてはいけないのではないかと考えた。だから、これからの自分の個性を伸ばし、磨いていくためにも、学習に力を入れて努力していきたいと思った。



市長講演【4/15(水)5 校時】



対面式（部活動紹介）【4/16(木)6 校時】

4/15(水)5・6 校時は、対面式が行われました。2・3 年生と対面するための対面式だったのですが、昨今の情勢のため、対面できたのは生徒会執行部の 2・3 年生だけでした。内容は、生徒会組織全般の説明、1 学年に所属する先生方の紹介、行事（潮陵祭など）・部活動（例年なら各部が趣向を凝らしてパフォーマンスをするのですが今年は映像のみ）の紹介などでしたが、この不慣れた状況の中で生徒会執行部の生徒達が 1 年生のために一生懸命対応してくれました。

また、7 校時は「全体対面式 2」として、西村先生より進路関係、白波瀬先生より潮陵の歴史の説明がありました。西村先生からは、大半が国公立大学への進学を希望する潮陵生の中で「こんな生徒が合格している」などの話がありました。白波瀬先生からは 1972 年の制服制度廃止のことや岡田三郎氏をはじめとする著名な潮陵 OB について話して頂きました。この日でウェルカムウィークは終了しましたが、本来この期間に実施する予定だった校歌コンクールや各種講演会は 6 月以降に行う予定です。ただ今後も“予定は未定”が続くかもしれません……。

＜炉辺談話＞みんな部活動はもう決まったかい？？こんな状況なので、放課後じっくり見学できていない人も多いかな？人生は選択の連続ですが、部活動の決定は高校入学後における最大の選択といっても過言ではないと思います。加入するしないも含め、自分の意志で決めてくれることを願っています。それ以外でも何か相談があれば先生方まで！